

（ボールペンで記入してください）

農業経営改善計画認定申請書（新規・再認定）

新規・再認定のどちらか当てはまるほうに○をつけてください。

平成21年 7月 1日

行方市長 殿

申請者 住所 行方市山田2564-10

氏名・名称 行方太郎 (印)

生年月日 昭和 / 平成 36年 5月 25日生 (48歳)

<法人設立年月日 年 月 日設立>

農業経営基盤強化促進法（昭和55年法律第65号）第12条第1項の規定に基づき、次の農業経営改善計画の認定を申請します。

農業経営改善計画					
①目標とする営農類型	<input checked="" type="radio"/> 稲・麦 / <input checked="" type="radio"/> 露地野菜 / 施設野菜 / 工芸作物 / 果樹 花卉・花木 / 酪農 / 肉用牛 / 養豚 / 養鶏 / 複合経営				
②経営改善の方向の概要	・これまで妻と二人で水稲主体に露地野菜との複合経営を行ってきた。 ・近年、高齢農家や兼業農家から農地の委託要請が増大しており、来春長男が大学校を卒業し経営に参画する予定なので、水稲部門の拡大を図りたい。 ・妻は主な農作業からはずし、長男と二人体制で年間労働時間2,000時間、年間農業所得700万円をめざし、ゆとりある生活を実現したい。				
	(年間農業所得及び年間労働時間の現状及び目標)				
		現状		目標 (5年後)	
	年間農業所得	〇〇〇万円		〇〇〇万円 ※行方市基準:580万円以上	
年間労働時間	〇〇〇〇時間		〇〇〇〇時間 ※行方市基準:2,000時間以内		
③農業経営の規模の拡大に関する目標		現状		目標 (5年後)	
	作目・部門名	作付面積	生産量	作付面積	生産量
		飼養頭数		飼養頭数	
	水稲	400a	20,000kg	460a	23,000kg
	さつまいも	200a	40,000kg	230a	46,000kg
経営面積合計	600a	60,000kg	690a	69,000kg	

自分に当てはまる作目に○をつけてください。

③ 農業経営の規模の拡大に関する目標拡大に関する目標	区分	地目	所在地 (市町村名)	現状		目標 (5年後)	
	所有地	田	行方市	300a		300a	
		畑	行方市	200a		230a	
	借入地	田	稲敷市	100a		160a	
	特定作業受託	作目	作業	現状		目標 (5年後)	
				作業受託面積	生産量	作業受託面積	生産量
	作業受託	作目	作業	現状		目標 (5年後)	
		水稻	耕起・代かき	2,000a		3,000a	
		水稻	田植	2,000a		3,000a	
水稻		収穫	2,000a		3,000a		
単純計			6,000a		9,000a		
換算後			2,000a		3,000a		
農畜産物の加工・販売その他の関連・附帯事業	事業名	内容	現状		目標 (5年後)		

特定作業受託とは、基幹3作業(代掻き・田植・稲刈)を受託すると共に、生産した農産物を受託者名義で販売する事です。

「作業受託面積÷作業数」により換算した面積を記載してください。

④ 生産方式の合理化に関する目標	機械・施設	機械・施設名	形式、性能、規模等及びその台数	
		耕運機・トラクター 米麦用乾燥機 田植機 コンバイン トラック 軽トラック 糶摺り機 農舎 作業場 甘藷掘り取り機 機械・施設名等を記入してください。	現状	目標（5年後）
			50馬力1台、25馬力1台 25石1台 4条植え 1台 3条刈り 1台 2t 1台 1台 3吋 1台 200㎡ 2棟 100㎡ 1棟 1台	50馬力1台、35馬力1台 35石1台 5条植え 1台 4条刈り 1台 " " 4吋 1台 200㎡ 3棟 120㎡ 1棟 "
			機械・施設の単位と数量をお書きください。分からない項目は空欄で結構です。	5年後に目標とする単位・数量をお書きください。現状を維持する場合は「 〃 」で結構です。
農利用地条件	現状	目標（5年後）		
	田が散在している 1箇所当り10a～30a	連坦化を進め、10カ所以上に分散している ほ場を自宅近辺、5カ所程度に集積する。		
作合理化部門別	作目・部門名	現状	目標（5年後）	
	水稲	コシヒカリ70% ゆめひたち30%	コシヒカリ50% ゆめひたち50%	
	甘藷	紅こがね 100%	紅こがね 80% 紅まさり 20%	
	甘藷	手作業での収穫	機械を導入し省力化を図りたい	
⑤ 経営管理の合理化に関する目標	現状	目標（5年後）		
	単式簿記 白色申告	<input checked="" type="checkbox"/> (複)式簿記の導入 <input checked="" type="checkbox"/> 青色申告の実施 <input checked="" type="checkbox"/> 経営分析の実施 <input type="checkbox"/> 税理士・コンサルタント等の活用 <input type="checkbox"/> トレーサビリティの導入 <input type="checkbox"/> 各種認証、資格の取得 <input type="checkbox"/> その他		
⑥ 農業従事の態様等の改善に関する目標	現状	目標（5年後）		
	不定休 労働過重の時期がある	<input checked="" type="checkbox"/> 休日制度の導入 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時雇用の導入 <input type="checkbox"/> 周年雇用の確保 <input checked="" type="checkbox"/> 家族経営協定(役割分担)の締結 <input type="checkbox"/> 作業管理の改善 <input type="checkbox"/> 農業者年金への加入 <input type="checkbox"/> その他		

目標とする項目のマス塗りつぶしてください。項目にない場合は、その他のマス塗りつぶし下の括弧内に記入して下さい。

⑦ 目標を達成するためにとるべき措置	<p>1. 経営規模拡大</p> <p>2. 経営管理の合理化</p> <p>3. 生産方式の合理化</p> <p>4. 低利資金の調達</p> <p>5. 認証・資格の取得</p>	<p>1. 農地を集積し、農作業受託面積の拡大を図る。</p> <p>2. 複式簿記・青色申告により家計と経営の分離を図る。</p> <p>3. 側条施肥方式の導入により基肥散布と追肥作業の省力化 甘藷は栽培技術改良により品質を向上させる</p> <p>4. スーパーL資金等の利用(H25年借入～H35年完済)</p> <p>5. エコファーマーの認定を目指す</p>
--------------------	---	---

氏名 (法人経営にあつては役員の氏名)	年齢	代表者との続柄 (法人経営にあつては役職)	現状		見通し	
			担当業務	年間農業従事日数(日)	担当業務	年間農業従事日数(日)
行方 太郎	48	(代表者) 本人	総合	300	総合	250
行方 花子	46	妻	収穫、調整	280	収穫、調整	100
行方 一郎	23	長男	なし	0	総合	250

代表者の行には、必ず申請者の名前を記入してください。

担当業務については、上記のように記入します。詳細を記入するのではなく、簡単に結構です。
(例) 総合・代掻き・箱詰め・選別 等

従事日数は、一日を8時間として計算します。
(例) 年間2000時間=250日
年間2400時間=300日
※目標とする年間労働時間を考慮して下さい。

雇用者	常時雇 (年間)	実人数	現状	0人	見通し	0人
	臨時雇 (年間)	実人数	現状	0人	見通し	2人
		延べ人数	現状	0人	見通し	40人

(参考)	認定市町村名	認定年月日	備考
他市町村の認定状況			